

2025年大阪・関西万博

開幕500日前を迎えました



©Expo 2025

2025年日本国際博覧会協会からのメッセージ

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)は、11月30日に開幕500日前を迎えました。同日には、入場チケットの発売も開始しました。チケットは、開幕券、前期券、一日券(超早期割引)、夏パス、通期パスなどのお得な券種をご用意しており、特に一日券(超早期割引)は会期中の価格の2割引となります。また、当万博は来場の平準化に向け、来場日時予約制を導入しておりますが、同券の場合、他の券種よりも早い時期(2024年9月25日~10月6日)からパビリオン・催事事前予約の抽選に参加できる特典もあります。是非ともご購入をご検討いただければと存じます。

万博への参加メニューの募集も本格的にスタートしました。まず、万博運営に必要な施設・物品、サービスの無償提供・貸与の協賛を募る「会場整備参加・運営参加」は、これまでに5回の募集を行いました。その結果、約350の幅広い様々な業種の企業・団体から参加の申し出を頂戴し、既に60以上の企業・団体の協賛が決定しています。本参加メニューについては、今後も募集を実施する予定です。

「一般参加催事」の募集は9月15日から始まりました。会場内の催事施設において、国内外の企業・団体・行政・NPO・NGO・クリエイター・アーティストなどが多彩な催事を企画・実施する同事業は、主役となる参加者の想いを形にし、ひとりひとりの挑戦が「未来を動かす一歩」になることを目指すものです。年末まで国内外の様々な方々からの応募を受け付けています。

「TEAM EXPOパビリオン」の募集も始まりました。これは、社会課題の解決を目指し、「あ!ちょっと社会が良くなった!」と思える「共創チャレンジ」の活動を同パビリオンで発表・展示する取り組みです。大阪・関西万博が志向する「参加型万博」を実践する場として、会期中に約3,000組の共創チャレンジの参加を見込んでいます。

この他にも、万博会場内での飲食施設(レストランやカフェなど)や物販施設(土産店、物産店等)への「営業参加」は、従来の予定を前倒しし、この秋には第1次募集を始めることで準備を進めております。

協会では、万博の全国的な知名度を向上させ、入場チケットの販売促進や各種参加メニューへの応募を増やすべく、引き続き、機運醸成活動に取り組んで参ります。そのため、開幕までに「入場チケット販売開始期」(2023年10~12月)、「開幕半年前期」(2024年9~11月)、「開幕直前・直後期」(2025年3~5月)の3回のPR重点期間を設定し、集中的に機運醸成に取り組みます。

まず、直近の「入場チケット販売開始期」には、新しいポスターやステッカー、デジタルサイネージ、プロモーションムービーなど様々なPRツールの作成を行いました。その際に、幅広い層にアピールするため、「くるぞ、万博。」などの4種類のキャッチコピーを用意し、各種PRツールに展開しています。

今後は、これらのPRツールを最大限に活用し、国や自治体、企業・団体等のご協力のもと、多くの方々に万博に来場いただけるよう、全国的な広報活動の展開に力を注いで参ります。皆さま方におかれましても、様々なPRツールをご活用いただきますとともに、引き続き、万博に対するご理解とご支援を賜りたく、重ねてお願い申し上げます。



1. テーマ：「いのち輝く未来社会のデザイン」

2. サブテーマ：

(1) Saving Lives(いのちを救う) (2) Empowering Lives(いのちに力を与える) (3) Connecting Lives(いのちをつなぐ)

3. コンセプト：People's Living Lab(未来社会の実験場)

4. 開催期間：2025年4月13日(日)~10月13日(月)の184日間

5. 開催場所：大阪 夢洲(ゆめしま)

※詳細情報は、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会のホームページをご確認ください。

(URL: <https://www.expo2025.or.jp/>) 右記QRコードをご利用ください。

